

第4回松本市四賀地域公共交通協議会の開催結果について

1 日時

平成21年10月21日（木）

13時30分～14時55分

2 場所

四賀支所 大会議室

3 出席者

松本市四賀支所長 百瀬会長、四賀地域審議会 佐藤副会長、長野国道出張所 中村委員、松本建設事務所 米山委員、松本市建設部長 丸山委員（代理丸山）、松本電鉄 惣洞委員、タクシー協議会 伊藤委員（代理西部）、松本市社会福祉協議会 山岸委員、松本市市民環境部長 江平委員（代理牧垣）、四賀地区町会連合会 望月委員、四賀地区町会連合会 平松委員、民生児童委員協議会 木下委員、民生児童委員協議会 竹内委員、民生児童委員協議会 岩淵委員、会田中学校 古川委員、行政相談員 草田委員、松本警察署 西澤委員、交通政策課 小林委員（岡沢）、長野運輸支局 千村委員、松本地方事務所 竹淵委員（代理中村）

欠席 松本市政策部長 中澤委員、四賀地区町会連合会 塩原委員、民生児童委員協議会 青木委員、会田中学校 召田委員、高齢者クラブ 藤原委員

4 会議事項

(1) 第3回協議会の開催結果について（原案どおり承認）

(2) 松本市四賀地域公共交通総合連携計画策定に向けたアンケート調査結果等について
（原案どおり承認）

(3) 今後の日程について（原案どおり承認）

(4) その他

「次世代交通政策を考える市民フォーラム」開催案内

5 会議で出された主な意見等

項目	意見等
アンケート調査の結果について	○移動頻度は把握しているか。 ⇒ アンケートで聞いているので、分析することは可能だが、今回は出していない。 ○交通不便者の実態を分析することが大切である。そうしないと利便性の高いものになっていかない。利用したい人がどの時間に利用するのか等分析し、利用のある時間に走らせるとか、もう少し踏み込んだ方が良く思う。 ⇒ 800人という母集団を中心に進めるということを確認いただければ、それで検討していくということ。 ○高校生で下宿をしている人の割合は。 ⇒ 把握していない。 ○課題が解決されれば利用するという風に考えて良いか。

	<p>⇒ 課題が解決されても使わないという人は6割ほどいた。</p> <p>○課題の中の運賃が高いということはどう考えるか。</p> <p>⇒ どのくらいが高くでどのくらいが低いという水準もあるし、利用している人としていない人でも考えは違う。サービスの方法によっても違う。課題の解決については、住民の意向も踏まえ検討していくこと。</p> <p>○市街地でも難しいのに、人が少ないところを走らせるのは難しい。デマンドとかの方が良いのではないか。高齢者や高校生を中心に考えるだけでは利用率を高めることはできない。</p>
住民意見交換会について	<p>○住民意見交換会の範囲はどの程度で行うのか。</p> <p>⇒ 27地区というわけにはいかない。範囲については今後検討したい。</p> <p>○住民意見交換会では、アンケート結果はもっとわかりやすいものにして欲しい。また、こういうところはデマンドが良いとか参考になることを具体的に出してもらうことも必要。</p> <p>⇒ 承知した。</p>
その他	<p>○四賀線の利用者は極めて少ない状況である。前年度は利用者が少なすぎて国から補助がもらえなかった。国の基準として、すみやかに止めなさいというところに入っている。四賀線が当然あるということで計画をたててもらっては困る。今後維持ができなくなるということもある。</p> <p>○運賃を安くするには乗らないところを止めて、経費を安くしないと運賃は安くない。松本市内の本当に使っている人のためにも乗らないところは止めなければいけない。(松本電鉄)</p>